

# 迅速スクリーニング検査の流れ

試料のサンプリング



試料の破砕、粉碎(5分<sup>※1</sup>)



FaPEX<sup>®</sup>カラムによる抽出・精製(3分<sup>※1</sup>)



LC-MS-MS分析(5分<sup>※1</sup>)



分析データを農業部農業薬物毒物試験所が  
管理するクラウド<sup>※2</sup>へ送信



データ解析及び台湾の残留農薬基準値への  
適否判定 (> 1分<sup>※1</sup>)



FaPEX<sup>®</sup>



- ※1 分析法 (TFDAP0013.00) の規定時間及び台湾農業部の試算。
- ※2 台湾農業部へ特許利用料を支払い、利用ライセンスを取得する必要。

(引用)台湾農業部資料及び  
島津製作所ウェブページ

# 分析法の比較

	迅速スクリーニング分析法	公定法
分析法番号	質譜快速篩検技術 (TFDAP0013.00)	多重残留分析法(五) (MOHWP0055.05) 等
用途	生産地や青果市場での 簡易検査	残留農薬基準値に対する 適否の判定
検査対象農薬	191剤	410剤
1 検体あたりの 検査時間※	10～15分	3～7日
1 検体あたりの 検査コスト※	500～1,200台湾元	2,700～6,000台湾元
必要機器	LC/MS/MS	LC/MS/MS及びGC/MS/MS
技術訓練	1,2週間	3～6ヶ月

※ 農業部の試算

(引用)台湾農業部資料

## (参考) 迅速スクリーニング検査の導入状況

- 台湾では、青果市場や産地などで広く導入されている。
- 当該検査は台湾農業部が研究・開発したものであり、基準値への適否を判定するための公定法に比べて、迅速かつ低コスト。

### 【導入している青果市場】



### 【台湾の青果市場における導入例】

15:00~22:00	市場への搬入、荷ほども
22:00~23:00	サンプリング
22:30~03:00	試料調整、分析
03:00~03:30	結果判定
03:30~	売買取引

※基準値超過が確認されたロットは廃棄。  
一回目の超過で10日間の搬入停止。  
三回目の超過で搬入資格を停止。